

# ソフトウェア品質シンポジウム 2019 (SQiP2019) PDU 発給一覧表

■プログラム (敬称略) 2019.9.3 現在

会場(東洋大学・白山キャンパス 1号館1階「1102」/ サテライト会場1号館地下1階「1B11」)						
9:45~10:00	【オープニング】 森崎 修司 (ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員長/名古屋大学)、ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員一同					
10:00~11:30	【特別講演】 スマートコンストラクションで実現する建設産業のデジタルトランスフォーメーション 四家 千佳史 (株式会社小松製作所 執行役員 スマートコンストラクション推進本部長)					1.50 PDU
11:30~12:45	昼食休憩 (ランチセッション: 昼食時に「ツール出展」企業: 麻デンソークリエイティブ / SCSK からの発表を聴くことができます。昼食は主催者が準備いたします。(事前登録制))					
	第1会場(1号館2階「1202」)	第2会場(1号館2階「1203」)	第3会場(1号館2階「1205」)	第4会場(1号館2階「1204」)	第5会場(1号館3階「1305」)	
	【セッション A1】 レビュー	【セッション B1】 品質評価、分析	【セッション C1】 アジャイル開発	【企画セッション E1】	【SQiP特別セッション F1】~SQiPからの情報発信~	
12:45~13:15	A1-1 【経験論文】 リスクシナリオに繋がるコンテキスト情報を抽出するレビューメタモデルの提案 梅田 浩貴 (国研) 宇宙航空研究開発機構	B1-1 【経験論文】 新技術に伴う開発における設計情報観点の蓄積および設計品質を含む進捗管理手法 松井 崇 (麻立製作所)	C1-1 【経験論文】 QC七つ道具を利用したDevOpsプラクティスの導入による開発とテストの生産性改善 荻野 恒太郎 (美天株式会社)	E1 【講演】 12:45~15:15 「オープンシステムの総合信頼性 (Open Systems Dependability)」 IEC 62853-1 森田 直樹 (IEC 62853-1 編纂者) 松原 豊 (IEC 62853-1 編纂者) 永山 辰巳 (IEC 62853-1 編纂者) レビュール 鈴木 延保 (IEC 62853-1 編纂者)	F1 12:45~15:15 「ソフトウェア品質保証部長の会からの情報発信」 《第1部》「普」 ・お客様と一緒に 高馬 義道 (IEC 62853-1 編纂者) ・進化論 - 組織 ・Part 11 QM 川田 葉子 (IEC 62853-1 編纂者) 《第2部》「新」 ・アジャイルな高 陸野 礼子 (IEC 62853-1 編纂者) ・AI システムの 佐藤 季司 (IEC 62853-1 編纂者)	
13:25~13:55	A1-2 【経験論文】 「要求には無いが想定しておくべき」要求仕様の抜け漏れを防ぎ開発の前提条件の村田 努 (オムロンヘルスケア株式会社)	B1-2 【経験発表】 基礎構築プロジェクトにおける定量 藤井 俊久 (麻立ソリューション)	C1-2 【経験発表】 ウォーターフォールド シフトしたときに陥り 下村 哲司 (日本電気株式会社)			
14:05~14:35	A1-3 【経験論文】 指摘を前向きに受け止め - RCS法 (レビューコミュニケーション) 弦間 健 (麻立テック)	B1-3 【経験発表】 ODC属性を軸とした欠陥分析パター 小島 義也 (エプソンアヴァンスタ)	C1-3 【経験発表】 品質部門はアジャイル ウォーターフォールド 藤江 祐二 (横河電機株式会社)			
14:45~15:15	A1-4 【経験発表】 レビュー支援システムを用いた改修 武井 良太 (麻立製作所)	B1-4 【経験論文】 セーフティ&セキュリティ開発にお 西澤 賢一 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)	C1-4 【経験論文】 アジャイル開発における段階的品質 伊藤 潤平 (ライオン株式会社)			
15:15~15:30	休憩					
	【セッション A2】 自動化	【セッション B2】 利用時の品質と製品品質	【セッション C2】 プロセス改善	【企画セッション E2】	【SQiP特別セッション F2】~SQiPからの情報発信~	
15:30~16:00	A2-1 【経験論文】 低頻度不具合の再現テストにおける GUI テスト自動化ツールの導入効果 森 一郎 (NECパーソナルコンピュータ株式会社)	B2-1 【経験論文】 顧客のビジネスリソースを考慮した仕様の決定方法の提案 小笠原 勝 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)	C2-1 【経験発表】 短期での自動車向け ECU 開発におけるプロセス改善 ~ウォーターフォールド型とアジャイル型のハイブリッド型開発~ 橋本 淳邦 (麻立ソリューション)	E2 【講演】 15:30~17:20 「CASE時代の車載組込みシステムの動向と課題」 高田 広章 (CASE)	F2 15:30~17:20 「ソフトウェア品質保証体系ガイド」 SQiPBOK v3に 《第1部》SQiPBOK v3 ・SQiPBOK v3 ・AIと品質保証 ・品質保証 《第2部》SQiPBOK v3 ・IoTシステム ・品質保証 ・品質保証	
16:10~16:40	A2-2 【経験発表】 動画によるモバイルゲームのE2E自 平岡 忠志 (麻立ダイナミックシステムズ株式会社)	B2-2 【経験発表】 視覚検査技術を活用した ~可視化された検査データに基づく問題分 杉本 幸洋 (富士通株式会社)	C2-2 【経験発表】 保守作業におけるプロ ~本格的な事故の撲滅 大日方 優子 (麻立製作所)			
16:50~17:20	A2-3 【経験論文】 RPA 開発における工数見積りと非機 長坂 昭彦 (フューチャーアーキテクト株式会社)	B2-3 【経験論文】 System & Software システム検証技術の提案 原田 知弘 (富士通株式会社)				
17:20~17:40	休憩					
17:40~19:00	(情報交換会)					
会場(東洋大学・白山キャンパス 1号館1階「1102」/ サテライト会場1号館地下1階「1B11」)						
10:30~12:00	【基調講演】 新たなイノベーションをもたらすIoTの次なるステップとは 坂村 健 (東洋大学 INIAD (情報連携学部) 教授/学部長)					1.50 PDU
12:00~13:15	昼食休憩 (ランチセッション: 昼食時に「ツール出展」企業: H.S. PractiTest Ltd. / 麻立ソリューションからの発表を聴くことができます。昼食は主催者が準備いたします。(事前登録制))					
	第1会場(1号館2階「1202」)	第2会場(1号館2階「1203」)	第3会場(1号館2階「1205」)	第4会場(1号館2階「1204」)	第5会場(1号館3階「1305」)	
	【セッション A3】 テスト技法・マネジメント	【セッション B3】 AI, IoT	【セッション C3】 チームビルディング、リーダーシップ	【企画セッション E3】	【SQiP特別セッション F3】~SQiPからの情報発信~	
13:15~13:45	A3-1 【経験論文】 派生開発におけるテスト漏れを防止する Difference Statement 柏原 一雄 (麻立ソリューション株式会社)	B3-1 【経験発表】 AI搭載ソフトウェアの開発プロジェクト 今谷 忠理 (麻立製作所)	C3-1	E3 【パネルディスカッション】 13:15~15:05 「デジタルトランスフォーメーション時代におけるソフトウェア (ハリスト)」 瀬島 善樹 (麻立ソリューション株式会社) 新田 哲 (麻立ソリューション株式会社) 竹内 克也 (麻立ソリューション株式会社) 神部 知明 (麻立ソリューション株式会社) 橋本 雅人 (麻立ソリューション株式会社) モテレータ 野中 誠 (東洋大学)	F3 13:15~15:05 「SQiPの未来」 《第1部》SQiPの未来 ・SQiPの未来 ・SQiPの未来 《第2部》SQiPの未来 ・SQiPの未来 ・SQiPの未来	
13:55~14:25	A3-2 【経験論文】 SONAR Testing 効率と客観性を両 熊川 一平 (麻立エス・ティ・ティ株式会社)	B3-2 【経験論文】 各種レポート予測における 手法の検討 北野 健太 (麻立日本総合研究所)	C3-2 【経験論文】 ソフトウェア関連の チームビルディング 菊地 奈穂美 (中電気工業株式会社)			
14:35~15:05	A3-3 【経験発表】 Web / モバイル・アプリ 定量的なテストマネジ 芹沢 憲二 (麻立エス・ティ・ティ株式会社)	B3-3 【経験発表】 IoTクラウド向けのセキ 品質要件の体系化の取 奥村 聡司 (麻立通ゼネラル)	C3-3 【経験発表】 自律的に思考するテス ソフトウェアスキル系ワ 常盤 香央里 (グロース・アーキテクチャ株式会社)			
15:05~15:25	休憩					
	【セッション D1】 招待講演	【セッション D2】 招待講演		【企画セッション E4】	【特別発表 G1】	
15:25~15:55	D1-1 ★ 2018年度 Best Paper Future Award GSNによる文脈知識補綴法を応 波平 晃佑 (国研) 宇宙航空研究	D2-1 ★ 2018年度 Best Presentation Award 作成者の認知バイアスに着目し 湯川 健 (ソノバル株式会社)		E4 【講演】 15:25~16:05 「社会に広がる 浦本直彦 (麻立ソリューション株式会社)	G1 15:25~16:05 「ユーザに 題解決の 村岡 恭昭	
16:05~16:35	D1-2 ★ 2018年度 Best Report Future Award UIテストの所要時間を10分の1に短縮する取 折田 武己 (レバテック株式会社)	D2-2 ★ 2018年度 Best Report Future Award アジャイル開発における利用者価値が高い 酒井 豊平 (富士通株式会社)				
16:35~16:55	休憩					
16:55~17:10	【SQiP紹介】 野中 誠 (SQiPソフトウェア品質委員会 委員長 / 東洋大学)					
17:10~17:25	【表彰】 森崎 修司 (ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員長 / 名古屋大学)					
17:25~17:45	【クロージング】 佐々木方規 (ソフトウェア品質シンポジウム委員会 ネットワーキング委員会 委員長 / 麻立ソリューション) ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員一同					

発表・招待講演は30分(発表・講演25分、質疑5分)、発表・講演の間に10分の入替え時間がございます。 ※ 第1~第5会場使用教室は変更になる場合があります。

■取得可能最大 PDU 発給数: **10.00 PDU**

★ Technical

1.50 PDU

TOTAL: 7.00 PDU

★ Leadership

1.50 PDU

TOTAL: 1.00 PDU

★ Strategic

1.50 PDU

TOTAL: 3.00 PDU